デジタル温度調節器 取扱説明書 第4版 (20.11)

MTMN R/RD/S/SD MTCT R/RD/S/SD MTBG R/S

安全上のご注意

取扱いを誤った場合の危険度を、警告と注意に分類して記載しています。 人身への危害及び財産への損害を未然に防ぐ為、必ずお守りください。

▲ 警告 取扱いを誤った場合、人が死亡、重傷を負う可能性がある。
・直射日光が当たる場所、周囲温度が著しく上下する場所で使用しないでください。故障の原因になります
・湿度が高い場所で使用しないでください。故障の原因になります。
・粉塵、鉄粉、油煙がある場所、埃が多い場所で使用しないでください。故障の原因になります。
・爆発性、引火性、腐食性ガスのある場所で使用しないでください。故障、火災の原因になります。
・水や薬品がかかる場所で使用しないでください。故障、火災の原因になります。
・濡れた手で触れないでください。故障、感電の原因になります。
・激しい振動や衝撃の加わる場所で使用しないでください。故障の原因になります。
・外部雑音、誘導障害等の回路に悪影響を与える様な場所で使用しないでください。故障の原因になります
・配線の際は、電源を切ってください。感電の原因になります。
 ・通電前に配線確認を行ってください。誤配線は、故障及び火災等の原因になります。
・背面空き端子を中継等の別用途に使用しないでください。故障の原因になります。
・分解及び改造をしないでください。故障の原因になります。
▲ 注意 取扱いを誤った場合、人が傷害を負う、物的損害の可能性がある。

・先の尖った物でキー操作をしないでください。パネルが破損する可能性があります。

安全性能について

本器は、安全用保護機器ではありません。以下の環境で使用される場合、ミスミ技術窓口まで ご相談いただき、フェールセーフ等の安全対策を行った上、定格及び機能に余裕を持って ご使用ください。

- ・取扱説明書に記載の無い条件や環境下でのご使用
- ・原子力や鉄道、車両、燃焼装置、又は、医療機関でのご使用
- ・人命や財産に影響があると予測され、特に安全性が要求される用途へのご使用

端子配列







1口11小/1双日	Б	
		_
名称	機能	
PV	現在値、又は設定モードのキャラクタを表示	
SV	設定値、出力値、又は設定モード画面の入力値を表示	
OUT1	制御出力1がON時、点灯	▋▋₽₽₽₽₽
OUT2	制御出力2がON時、点灯(PID又はON-OFF選択時)	
AL1	接点出力EV1がON時、点灯	
AL2	接点出力EV2がON時、点灯(イベント出力選択時)	
RDY	READY中、点灯	
MODE+-	画面切替時に使用	
FUNC+-	ファンクション設定した機能を実行時に使用	※COM DIは使用しません。
▼▲≠−	設定値の増減時に使用	

外形寸法/取付位置/パネルカット寸法





M3.5

77 7

配線上のご注意

MTBG

96 96 9

・圧着端子を使用時、適切なサイズを使用してください。中央の端子は、電線を直接締め込んでください。

- ・測温抵抗体と本器を接続する線材は、線抵抗5Ω以下(1線当たり)の物を使用してください。 ・熱電対と本器を接続する線材は、規定の補償導線、又は素線自体を使用してください。
- ・ノイズ発生源に近い場所で使用する場合は、シールド線を使用してください。
- ・同一ダクト内や電線管内に入出カラインを配線しないでください。
- ・入出力の信号線は、電源及び負荷ラインから50cm以上離してください。

仕様

<u>п<-+</u>	MTM	1N	MTC	CT	MTE	G
形式	R/RD	S/SD	R/RD	S/SD	R	S
制御出力 【OUT1】	リレー接点(※1) (AC250V 3A)	SSR駆動電圧 (DC12V)	リレー接点(※1) (AC250V 3A)	SSR駆動電圧 (DC12V)	リレー接点(※1) (AC250V 3A)	SSR駆動電圧 (DC12V)
制御出力 【OUT2】(※2)			リレー接点(※1)	(AC250V 2.4A)		
接点出力 【EV1/EV2】		リレー接点	(※1) (AC250V	2.4A) 1a接点	(1b切替可)	
≤ータ断線警報 〔CT】	(※3)	設定範疇	囲 AC 1~30A 精	青度 5%(設定分)	解能1A)	
制御方式	ON	I-OFF制御 及て	ド PID制御(セルフ	ワチューニング/オ	ートチューニング)	
サンプリング周	期		250r	ns		
入力センサ種類	Į	熱電対(K/J/	R/T/N/S/B) 及び	測温抵抗体(Pf	t100/JPt100)	
指示精度 (熱電対)	指示値の±0 但し、-	.3%+1digit又は 100~0℃は±3	は±2℃のどちらか大 ℃ -200~-100℃(きい方(周囲環均 は±4℃ B熱電対	意23℃±10℃/45~ の400℃以下は規定	75%RH) E無し
指示精度 (測温抵抗体)	指示値の±0.	3%+1digit又は 周囲温度0~50°	±0.9℃のどちらかけ ℃は、±0.5%+1dig	大きい方(周囲温 jit、又は1.5℃の	度23℃±10℃/45~ どちらか大きい方	~75%RH)
入力電源		AC	100~240V (-15%	/+10%) 50/60)Hz	
消費電力			10VAL	以下		
記憶素子			EEPROM	(※4)		
使用周囲温度湿	度	0~50 ^ବ	C 20~90%RH (注	k結及び結露しな	いこと)	
保存周囲温度湿	度	-25~70	ວ℃ 5~95%RH (ສ	氷結及び結露しな	こいこと)	
寸法	24×48>	×100	48×48	×83	96×96	×86
重量	للو180	<u>ل</u> الت	لم 180g	以下	بلو380 <u>ب</u> لو	以下



(※2) OUT2はOUT1の逆動作になります。 OUT1が加熱時出力の場合、OUT2は冷却時出力となります。OUT1と2の同時出力は出来ません。 他の動作設定で使用の場合は、EV2をお使いください。

(※3) ヒータ断線警報付(型式D)のみです。又、断線検出は単相のみです。三相には使用出来ません。

(※4) 不揮発性メモリ。電源切断後も設定は記憶されます。

1. 電源投入

92 + 0.6 - 0 = 92 + 0.6 - 0 = 120 = 96

2.モード切替





4.制御の設定
制御出力(OUT1)の 異なります。接続機器 設定時の入力記号は、
表2.制御方式の特徴
制御
ON-OFF リレー打

基本編|ご使用までの設定

応用編 | 接点出力(EV1/EV2)の設定

1.PVイベントの設定

測定値(PV)とイベント設定値を比較し、リレー接点(EV1/EV2)をON-OFFさせる機能です。 測定値異常の検知(警報)、又は他のシステムへの起動/停止指令等にご使用いただけます。 入力記号は、表6.を参照してください。動作領域については、表7.を参照してください。

基本画面	初期設定画面	制御内容設定画面	EV1機能設定画面	例.保持+絶対値上降
20	SEE	$\left[5EE \right]$	LE IF	LE IF
ן מ	·[<u>]</u> /][4	> <u>1_</u>] \$	·[] 00][•	¢ן <i>ו</i> נ
MODE		MODE		MODE
(2秒)	(2回)	(1回)	(記号入力)	(1回or2秒/完了

2.ヒータ異常警報の設定

、動作しない

付属のカレントトランス(CT)を使用して検知したヒータ電流とCT設定値を比較し、 リレー接点(EV1/EV2)をON-OFFさせる機能です。(型式Dのみ) ヒータ断線の検知や、ヒータ用リレーの接点溶着の検知にご使用いただけます。 動作については、表8.を参照して下さい。配線については、裏面の【配線例】を参照して下さい。

	制御出力(OUT1)	LED動作	検知電流	断線警報	溶着警報	警報出力	
ON 占灯		上小丁	有(正常)	OFF	- ^{≫³}	OFF	
	ON	ЩVЛ	無(断線)※ ¹	ON	- ^{∦3}	ON	
	OFF	34 0 7	有(接点溶着)※ ²	$-*^{4}$	ON	ON	
	OFF	消入」	無(正常)	$-*^{4}$	OFF	OFF	
	ON		Ton ³ Toff ⁶				

ON OFF —

- ※1 ONの時、検知電流がCT設定値以上の場合は「正常」、以下の場合は「断線」と判定します。
- ※2 OFFの時、検知電流がCT設定値以下の場合は「正常」、以上の場合は「接点溶着」と判定します。

※³ ONの時、溶着警報を出力しません。

- ※⁴ OFFの時、断線警報を出力しません。
- ※5 断線検知に必要な時間は300ms以上です。Tonが300ms以下の場合、断線警報を出力しません。
- ※6 溶着検知に必要な時間は300ms以上です。Toffが300ms以下の場合、溶着警報を出力しません。

パラメータ

運転モード

運転モード画面

LALE#IMM MODE+- (20) W1000 W10000 W1000 W1000							
「東京市政 「日本市政	A. 基本画	面		MODEt- (2秒)	-	<u>「SEE」</u> PV 初期設定モード呼出画面	(́
Implement Monet- Bargemann (2001) 500 Fig. 2, and 2001) 500 Fig. 2, and 2001) 500 Fig. 2, and 2001 Monet- Implement Fig. 2, and 2001) 500 Fig. 2, and 2001 Monet- Implement Jonet- Implement Signature Sig	現在値 Р	V 温度設定をして	ください。	HODE4 (249)		isv	• -
● 小田福田(2001) ● 小田福(2001) ● 小田(2001) ● 小田(2001) <td< th=""><th>設定値 SI</th><th>V</th><th></th><th></th><th></th><th>MODE+-</th><th></th></td<>	設定値 SI	V				MODE+-	
正規予範疇(使用).参照) 日本(1) 日本(1) <td>MOD</td> <td>DE+-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.入力種類設定画面(表1.参照)</td> <td></td>	MOD	DE+-				2.入力種類設定画面(表1.参照)	
$ \begin{array}{c} \hline \\ \hline \\ \hline \\ \hline \\ \hline \hline$	B 優先面面	而(説明1 参昭)				- L のP PV 入力の種類をして下さい。	
			5生主子/沙宁			sv	
MX064- (ALERA) MX07- (MARRA) MX07- (MA	がある場合	、最大9画面まで表	表示されます。				
● 第4:9 1.99 ● 1.99	, MOD)Eキー(A.に戻る)					
	¥ ·····					3.PV補正ゲイン設定画面	
歴期1.優先團面除定 設定 - ド内の各團面の全てに対し、必要とする画面を優先的に運転モードに 割けする事が比果す。Str D 他のを中 500 Moce+ 1.000年+ 1.0001+ <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>- Pulipy 測定値に誤差が生した場合、 - 補正値を設定して下さい。</th> <th></th>						- Pulipy 測定値に誤差が生した場合、 - 補正値を設定して下さい。	
RØ1: 優先團面/優先團面設定 R2元 - ド内の含團面の全てに対し、必要とする画面を優先的に運転モードに RFURE 200 個などの「空振した理会」 REVERTED これなどでさい。 4.25 mm 2016年9月10日 R あま細面 200 HOCE+ <u>1000</u> <u>1000</u> EXTL R あま細面 <u>200 HOCE+</u> <u>1000</u> <u>1000</u> FARM <u>1000</u> R あま細面 <u>200 HOCE+</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>11.168</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>11.168</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>11.168</u> <u>1000</u> <u>1000</u> <u>10000</u> <u>10000</u> <u>100000</u> <u>100000000000000000000000000000</u>							
取羽1. 優先画面/億先画面設立 取羽1. 優先画面/億先画面設立 設定 - ド内の各画面の公式 (こ対し、必要とする画面を優先的に運転モードに 開付する単が出来す。Str 0 愛洗画面設立で違派してください。 ● レージョン(2012年、) ● ロージョン(2012年、) ● ロ						MODE+-	
$ \begin{array}{c} \hline \\ \hline $	説明1. 優労	先画面/優先画面	設定			4.PV補正ゼロ点設定画面	
			ふん ふうしん ふうしん ふうしん ふうしん ふうしん しんしょう しんしょ しんしょ			- PuSPV 測定値に誤差が生じた場合、	
第 ##### ±001847####################################	設定モー	- 下内の各画面の 事が出来ます。	王 CIC 対し、必要 SET 0 優先画面	まて9る画面を優元的に運転モートに 役定で選択してください。			
$ \begin{array}{c c c c c } \hline \hline$	例 基本	「面面 出ナ	11操作量表示画面	FV1上限設定面面 基本面面			
$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $		20 MODE+-	Du / MODE=	$\downarrow - [F] H MODE = [70]$			
$ \begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $		50>	- Tioao				
						「POF PV 熱定値(FV)に 久建れ境算	
展現2.ファンクションキー設定画面で設定を行う事により、下記動作の専用キーとして ファンクションキーを使用する事が出来ます。 1.							
7. ファンクションキー設定画面で設定を行う事により、下記動作の専用キーとして ファンクションキーを使用する事が出来ます。 2. 1. 行移動専用キー 設定値変更時に設定の作を移動する事が出来ます。 2. RUN/READY専用キー 制部停止 (READY) e割調要行 (RUN) を +- 定得時に切自える事が出来ます。 3.オーナロニング専用キー キーを推得する、脚オートチューニングを開始します。 (4) 認確停止 READYランプ(XT) 3.オーナロニング専用キー キーを推得する、脚オートチューニングを開始します。 (2) 解り (1) 卵 するに開始ノリセット>> 4: タイマー専用キー タイマーのスタート/リセット時に使用します。 (2) 解り (2) 和の (2) パンパンドマンジーンドを知うるPID (2) パンパン (2) シュートを知うるPID 1. セレブチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。 (2) パンパルEADY専用キー (2) パンドマンデリセットワインドアップ) 機能 アンチリセットワインドアップ) 機能 RRW-とは、PID制御師均動作 (PVをSVに合わせる動物) を抑制する機能です。 (3) パーチュニング卵用キー (2) パンデリセットワインドアップ) 機能 アンチリセットワインドアップ) 機能 RAWとは、PID制御師動作 (PVをSVに合わせる動物) を抑制する機能です。 (4) パード参加すのにすると構力動です。 (2) パンデリセットワインドアップ) 機能 (2) パンドレーロック(1) パーロック) (2) ロック(1) 小数点表示設定時) (3) ロック(1) コリューシック) (3) イレンデリセントワインドアップ) 機能 (2) パー (2) ののにする) (4) ローロック(1) スリューロック) (2) 副売し、日本ののの (4) ローリング酸素のののの (2) パーロック(1) (2) ののの (5) 国 (1) コ (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)	説明2. ファ	ァンクションキー	-設定			MODE≠-	13
	7.ファンク	クションキー設定	画面で設定を行う			6.小数点位置設定画面	13
1:市稼動専用キー 設定値空更時に設定の桁を移動する事が出来ます。 2:RUN/READY専用キー 制御停止 (READY) $\odot M御寝兵(RUN) を 3:オー打コーング事用キー キーを押す毎に同始/リセット) 3:オー打コーング事用キー キーを押すり、回知ートチューニングを開始します。 (第3) (第3) 4:タイマー専用キー タイマーのスタート/リセット時に使用します。 (第3) (第3) (第3) (第4) 9/73) (第4) 9/73) (第4) 9/73) (第4) 2.7.75/32 (第4) 9/73) (第4) 2.7.75/32 (第4) 9/73) (第4) 2.7.75/32 (第4) 9/73) (第4) 注 tU.77-9-32-t=0x20 9/73) (第4) 注 tU.77-9-32-t=0x20 第 t=0x200 第 t=0x200 第 t=0x200 第 t=0x200 第 (1) 8 t=0x200 第 (1) 9/702 (1) 12 t=0x200 13 t=0x200 14 100 15<$	ファンクシ	ションキーを使用	する事が出来ます	f 。		_ dP PV	- 1-
加速ののの 加速してにない 加速してにない 加速している エーシャック エーシック エーシック エーシック エーシック エーシック エーシーショ エーシーシー エーシーシーシー エーシーシーシー エーシーシーシー エーシーシーシー エーシーシー エーシーシーシー エーシーシーシー エーシーシーシー エーシーシー エージーン エーシーシー エージャン エーシーシー エーシーシー エーシーシー エージー エーシーシー エージー エーシーシー エーシー エーシー エーシー コーシー コーシー コーシー	1.桁移動車	1日土-	設定値変更時に	設定の桁を移動する事が出来ます。		[] sv	
$ \frac{1}{10} \frac{1}{1000} \frac{1}{1000} \frac{1}{1000} \frac{1}{1000} \frac{1}{1000} \frac{1}{1000} \frac{1}{1000} \frac{1}{10000} \frac{1}{10000} \frac{1}{10000} \frac{1}{100000} \frac{1}{100000000} \frac{1}{10000000000000000000000000000000000$							SI
(制御停止中、花EADYランブ点灯) 3:オーガコーング、専用キー キーを使すど、即オートチューニングを開始します。 4:タイマー専用キー タイマーのスタート/リセット時に使用します。 2000 タイマーのスタート/リセット時に使用します。 2011 アンプシンションキー別途を (別3.機能選択) タイブス・基本型 タイブーのスタート/リセット時に使用します。 タイブ島:オーバーシュートを抑えるPID 第 注、セルフチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。 所移動専用キー 2011 アンプションキー別途を (DT)-Site (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 適時方によるオーバーシュートが発生してしまう制御討気能に有効です。 MODEキー 8.キーロック短走画面 (空気) アングションキーのの定 (ロックOFF) 第1.入力選択表/設定範囲表	Z.RUN/RE	ADI専用キー	ーーを押す毎にt	ファフ, ⇒/ヤリ゙ロロン実1」(KUN)を 辺り替える事が出来ます。			
3:北-H1-20*専用キー キーを押すと、即オートチューニングを開始します。 4:タイマー専用キー タイマーのスタート/リセット時に使用します。 20 8.第 20 7.77/7324-202500 20 7.77/7324-202500 20 7.77/7324-202500 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 21 20 22 20 23 7 24 20 25 2 26 13 27 20 23 7 24 20 25 2 26 12 27 20 28 2 20 2 <tr< th=""><th></th><th></th><th>(制御停止中、F</th><th>(EADYランプ点灯)</th><th></th><th></th><th></th></tr<>			(制御停止中、F	(EADYランプ点灯)			
(押す毎に開始/リセット) 4:タイマー専用キー タイマーのスタート/リセット時に使用します。 第7.777932+32=325=1月2 27.773:基本型 タイブA:基本型 タイブB:オーバーシュートを抑えるPID 注. セルフチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。	3:オートチューニン	ング専用キー	キーを押すと、	即オートチューニングを開始します。		MODE+-	
4:タイマー専用キ タイマーのスタート/リセット時に使用します。 第 第 第 第 第 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 9 第 1 1 9 1 1 1 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 <td></td> <td></td> <td>(押す毎に開始/</td> <td>リセット)</td> <td></td> <td>7.ファンクションキー設定画面(説明2.参照)</td> <td></td>			(押す毎に開始/	リセット)		7.ファンクションキー設定画面(説明2.参照)	
	4:タイマー	- 専用キー	タイマーのスター	- ト/リセット時に使用します。		<u>FIIPV</u> ファンクションキー用途を	
説明3.機能選択 タイブA:基本型 タイブA:基本型 タイブA:基本型 タイブB:オーバーシュートを抑えるPID 第 注. セルフチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。 第 説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ)機能 () ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 認備分によるオーバーシュートが発生してしまう制御封象に有効です。 MODE+- 8.キーロック設定画面 () 連載分によるオーバーシュートが発生してしまう創御封象に有効です。 () 欧値を下げると効果も上がりますが、0にすると積分動作が働かなくなるので ご注意ください。 () 素1.入力選択表/設定範囲表 () 整式 下限 ~ 上限 小数点表示設定時 () 00 K熱電対 - 200 ~ 1372 -199.9~990.0 01 J -200 ~ 850 -199.9~990.0 02 R 0~ 1700 () 03 T -200 ~ 1300 -199.9~900.0 05 S 0~ 1700 () () 05 B 0~ 1700 () () 10 Pt10002 -199 ~ 500 -199.9~500.0 () 13 ア 0~ 1700 () () 05 S 0~ 1700 () () 13 Pt10002 -199 ~ 500 -199.9~500.0 () </td <td>1.213</td> <td>1-11-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><u> </u></td> <td></td>	1.213	1-11-1				<u> </u>	
記切3. 機能通数 9 イブA:基本型 タイブA:基本型 タイブA:基本型 タイブA:基本型 タイブA:基本型 タイブB:オーバーシュートを抑えるPID 2 注. セルブチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。 3 オートチューニング専用キー 説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ)機能 6.キーロック設定面面 ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 過積分によるオーバーシュートが発生してしまう制御対象に有効です。 数値を下げると効果も上がりますが、OLCすると補分動作が働かなくなるので 8.キーロック設定面面 1. もの、アンチリセットワインドアップ)機能 1. もの、アンチリセットワインドアップン機能 ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 8.キーロック設定面面 2. なし、アンチリセットワインドアップン機能 2. なし、アンチリセットワインドアップン機能 ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 8.キーロック設定 2. なし、アンチリセットワインドアップン機能 3. ホード・レーン・アンクローン 意見の、のし、Call 2. マークので手 意見の、のし、Call 2. マークので手 意見の、のし、Call 3. アドロ・シローン 2. 素化 0. マンのへ 1372 -199.9~990.0 0.1 1. ロ、-200 ~ 1300 -199.9~900.0 3. ア・ロ・200 ~ 1300 -199.9~900.0 0.5 5. パ ロ へ 1700	=****	* 155 10				SV U BERU	
タイブA:基本型 タイブB:オーバーシュートを抑えるPID 注. セルフチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。 説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ) 機能 ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 過積分によるオーバーシュートが発生してしまう制御対象に有効です。 数値を下げると効果も上がりますが、0にすると積分動作が働かなくなるので ご注慮ください。 素1.入力選択表/設定範囲表 記号 種類 下限 ~ 上限 小数点表示設定時 0.00 K熱電対 -200 ~ 1372 - 199.9~990.0 0.1 J " -200 ~ 850 - 199.9~850.0 0.2 R " 0 ~ 1700 0.3 T " -200 ~ 400 - 199.9~400.0 0.5 S " 0 ~ 1700 0.5 S " 0 ~ 1700 0.5 B " 0 ~ 1700 0.5 B " 0 ~ 1700 0.5 B " 0 ~ 1700 0.7 F1000 1.7 Pt10002 - 199 ~ 500 - 199.9~500.0 1.1 JPt10002 - 199 ~ 500 - 199.9~500.0	記明3. 機能	能選択				/ 桁移動専用キー	
タイブB:オーバーシュートを抑えるPID 注. セルフチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。 説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ)機能 ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 過積分によるオーバーシュートが発生してしまう制御対象に有効です。 数値を下げると効果も上がりますが、0にすると損分動作が働かなくなるので ご注意ください。 表1.入力選択表/設定範囲表 記号 種類 下限 上限 小数点表示設定時 00 K熟電対 -200 ~ 1372 -199.9~990.0 01 J " -200 ~ 1372 -199.9~990.0 02 R 0 ~ 1700	タイプA:基	基本型				2 RUN/READY専用キー	
注. セレフチューニングで制御が安定しない場合、タイブA.Bを変えるか ON-OFF制御にして下さい。 説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ)機能 ARWとは、PID制御韻分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 設備分によるオーバーシュートが発生してしまう制御対象に有効です。 数値を下げると効果も上がりますが、0にすると積分動作が働かなくなるので ご注意ください。 素1.入力選択表/設定範囲表 配号 種類 下限 ~ 上限 小数点表示設定時 00 成日 水熱電対 -200 ~ 1372 -199.9~990.0 日 1 1 -200 ~ 850 -199.9~990.0 0.2 R 0 ~ 1700	タイプB:オ	† ーバーシュート	を抑えるPID] オートチューニング専用キー	
$ \frac{1}{10} = \frac{1}{1000} - \frac{1}{199} - \frac{1}{200} - $	注 カリー	フエュ _ ーヽ.ガマ	の制御が安安した			 タイマー専用キー	
説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ)機能 8: \overline{t} -ロック認定画面 ARWとは、PIDH御禰分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 過積分によるオーバーシュートが発生してしまう制御対象に有効です。 数値を下げると効果も上がりますが、0にすると積分動作が働かなくなるので ご注意ください。 8: \overline{t} -ロック認定。 □ sv 下記より選択的です。 表1.入力選択表/設定範囲表 \overline{t} 種類 下限 \overline{t} 以外ロック 道号 種類 下限 \overline{t} りり、小数点表示設定時 $\overline{00}$ K熱電対 -200 1372 -199.9~990.0 0 I 1 -200 850 -199.9~990.0 0 R 0 1199.9~990.0 ③ 運転モードロック 0 K熱電対 -200 1372 -199.9~990.0 0 R 0 11700 - - 0 N -200 400 -199.9~990.0 - 0 R 0 1100 -199.9~990.0 - 0 N -200 400 -199.9~990.0 - 0 N 0 -1700 - - 0 N 0 -199.9~500.0 - - 10 Pt1000 -199 500 -199.9~500.0 - 11 <td>注. ゼルノ ON-C</td> <td>フテューニンクの DFF制御にして下</td> <td>「お御が女正しな</td> <td>い場合、タイノA.Bを変えるか</td> <td></td> <td></td> <td></td>	注. ゼルノ ON-C	フテューニンクの DFF制御にして下	「お御が女正しな	い場合、タイノA.Bを変えるか			
説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ) 機能 ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作) を抑制する機能です。 過積分によるオーバーシュートが発生してしまう制御対象に有効です。 数値を下げると効果も上がりますが、0にすると積分動作が働かなくなるのでご注意ください。 表1.入力選択表/設定範囲表 記号 種類 下限 上限 小数点表示設定時 00 K熱電対 22 R 02 R 03 T 04 N 05 S 05 S 07 1300 199.9~990.0 07 N 07 100 101 N 0~1700 (MODE+- (1.に戻る) 102 100 103 T 104 N 105 B 105 B 106 199.9~500.0 117 199 ~ 500 119.9 199.9~500.0 111 199 ~ 500 112 199 ~ 500 113 0~ 199 ~ 500 114 199 ~ 500 115 0~ 199 ~ 500 119.9~500.0<						MODE+-	
説明4. ARW (アンチリセットワインドアップ)機能 ARWとは、PID制御積分動作 (PVをSVに合わせる動作)を抑制する機能です。 通荷分によるオーバーシュートが発生してしまう制御対象に有効です。 数値を下げると効果も上がりますが、0にすると積分動作が働かなくなるのでご注意ください。 表1.入力選択表/設定範囲表 (1) 年間 記号 種類 下限 小数点表示設定時 10 K熟電対 -200 ~ 1372 -199.9~990.0 11 1 -200 ~ 1372 -199.9~990.0 12 R 0 ~ 1700 (1) CEF (1) CE						8.キーロック設定画面	
	₩HB4 ΔP	W (アンチリカ		、 プ) 本総合に		-Lo[PV 誤操作防止用キーロック設定。	
ARW2[G, PLDB/alming/bar (PV&2SVL)c=17DE0 abr (P) = 0.5 Min (P) = 0							
$\log \log $	ARWとは、 過積分に上	PID制御楨分動 - スオーバーシュ	I作(PVをSVに合 一トが発生して!	わせる動作)を抑制する機能です。 まう制御対象に有効です。			
$Z \pm \bar{a} < f E \pm 0$ $\bar{a} = 1 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 + 0 +$	数値を下げ	「ると効果も上が	りますが、0にす	ると積分動作が働かなくなるので			
$\overline{k1.\lambda}$ \overline{k}	which have a state					(主ロック(設定不可)	
表1.入力選択表/設定範囲表 ① 下限 小数点表示設定時 $\overline{126}$ 種類 下限 小数点表示設定時 $\overline{101}$ K熱電対 -200 1372 -199.9~990.0 $\overline{01}$ J " -200 850 -199.9~990.0 $\overline{02}$ R " 0 1700 — $\overline{03}$ T " -200 400 -199.9~400.0 $\overline{04}$ N " -200 400 -199.9~400.0 $\overline{04}$ N " -200 400 -199.9~900.0 $\overline{05}$ S " 0 1700 — $\overline{05}$ S " 0 199.9~500.0	ご注意くた	ごさい。					
表1.入力選択表/設定範囲表 記号 種類 下限 小数点表示設定時 \square K熱電対 -200 ~ 1372 -199.9~990.0 \square J " -200 ~ 850 -199.9~850.0 \square R " 0 ~ 1700	ご注意くた	ごさい。 				運転モードロック	
$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	こ注意くた	ごさい。				〕 運転モードロック] 運転モード以外ロック	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	こ注意くた表1.入力選	ごさい。 	围表				
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u>ご注意くた</u> <u>表1.入力選</u> 記号	ごさい。 選択表/設定範囲 種類	围表 下限 ~ 上『			2 運転モードロック 3 運転モード以外ロック MODEキー(1.に戻る)	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u> こ注意くた</u> <u> 表1.入力選</u> <u> 記号</u> の	ごさい。	围表 下限 ~ 上M	₹ 小数点表示設定時 2 – 199.9~900.0		2 運転モードロック 3 運転モード以外ロック MODEキー(1.に戻る)	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u>表1.入力選</u> <u>記号</u>	^E さい。 <u> 軽</u> 択表/設定範囲 <u> 種類</u> K熱電対	围表 下限 ~ 上M -200 ~ 137	 水数点表示設定時 /2 - 199.9~990.0 /2 0.0 0.050.0 		〕 運転モードロック] 運転モード以外ロック ↓ MODEキー(1.に戻る)	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u> 表1.入力選</u> <u> 表1.入力選</u> <u> こ 日 こ 日 の の</u>	^{ごさい。} <u>選択表/設定範囲</u> <u>種類</u> K熱電対 」 "	囲表 下限 ~ 上№ -200 ~ 137 -200 ~ 85	 Ⅰ 小数点表示設定時 72 – 199.9~990.0 i0 – 199.9~850.0 		2 運転モードロック 3 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
$ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u>表1.入力選</u> <u>記号</u> 00 01 02	^{ごさい。} <u> 軽</u> 択表/設定範囲 <u> 種類</u> K熱電対 J " R "	囲表 下限 ~ 上№ - 200 ~ 137 - 200 ~ 85 0 ~ 170	 Ⅰ 小数点表示設定時 199.9~990.0 ○ - 199.9~850.0 ○ - 100.0 		2 運転モードロック 3 運転モード以外ロック MODEキー(1.に戻る)	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u>表1.入力递</u> <u>記号</u> 00 01 02 03	<u>選択表</u> /設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T "	囲表 下限 ~ 上M - 200 ~ 137 - 200 ~ 85 0 ~ 170 - 200 ~ 40	 Ⅰ 小数点表示設定時 22 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 10 - 199.9~400.0 		2 運転モードロック 3 運転モード以外ロック MODEキー(1.に戻る)	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u>表1.入力递</u> <u>記号</u> 00 01 02 03 04	さい。	→ 下限 ~ 上原 → 200 ~ 137 → 200 ~ 85 0 ~ 170 → 200 ~ 40 → 200 ~ 130	 Ⅰ 小数点表示設定時 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 10 - 199.9~400.0 10 - 199.9~990.0 		〕運転モードロック] 運転モード以外ロック MODEキー (1.に戻る)	
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05	さい。	<u> </u>	 Ⅰ 小数点表示設定時 ⁷2 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 10 - 199.9~400.0 10 - 199.9~990.0 10 - 199.9~990.0 		2 運転モードロック 3 運転モード以外ロック ↓ MODEキー(1.に戻る)	
$\frac{10}{11} Pt100\Omega -199 \sim 500 -199.9 \sim 500.0$	志注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 05 05 05 05	<u>きい。</u> <u>種類</u> K熱電対 J <i>"</i> R <i>"</i> T <i>"</i> N <i>"</i> S <i>"</i> R <i>"</i>	玉	▲ 小数点表示設定時 /2 – 199.9~990.0 50 – 199.9~850.0 00 – 199.9~400.0 10 – 199.9~990.0 10 – 199.9~990.0		〕 運転モードロック] 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
11 JPt100Ω $-199 \sim 500 -199.9 \sim 500.0$	志注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 12	<u> 軽</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B "	一 下限 ~ 上原 -200 ~ 137 -200 ~ 85 0 ~ 177 -200 ~ 40 -200 ~ 130 0 ~ 177 0 ~ 177 0 ~ 177	小数点表示設定時 /2 - 199.9~990.0 ;0 - 199.9~850.0)0		〕 運転モードロック] 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10	<u>達</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B " Pt100Ω	一 一 200 ~ 137 -200 ~ 137 -200 ~ 137 -200 ~ 40 -200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 170 0 ~ 180 -199 ~ 50	小数点表示設定時 72 -199.9~990.0 50 -199.9~850.0 00		〕 運転モードロック] 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 05 10 11	社択表/設定範囲 種類 K熱電対 J	一 一 200 ~ 137 -200 ~ 137 -200 ~ 137 0 ~ 170 -200 ~ 40 -200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 180 -199 ~ 50 -199 ~ 50	小数点表示設定時 72 -199.9~990.0 50 -199.9~850.0 90		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力選 回 00 01 02 03 04 05 05 10 11	王さい。 王沢表/設定範囲 種類 K熱電対 J	丁限 ~ 上原 -200 ~ 133 -200 ~ 85 0 ~ 170 -200 ~ 40 -200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 180 -199 ~ 50 -199 ~ 50	根 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00		〕 運転モードロック] 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	ぜい。 種類 種類 K熱電対 J " R " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω		图 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00			
	こ注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	登訳表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " R " T " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	下限 ~ 上原 - 200 ~ 137 - 200 ~ 85 0 ~ 170 - 200 ~ 40 - 200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 180 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50	根 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 90			
	ご注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	杜沢表/設定範囲 種類 K熱電対 J	田表 下限 ~ 上間 $-200 \sim 137$ $-200 \sim 85$ $0 \sim 170$ $-200 \sim 40$ $-200 \sim 130$ $0 \sim 170$ $0 \sim 170$ $0 \sim 180$ $-199 \sim 50$ $-199 \sim 50$	根 小数点表示設定時 72 -199.9~990.0 50 -199.9~850.0 90			
	ご注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	<u>戦</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	玉 玉 玉 五 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	根 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 90			
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	王さい。 王沢表/設定範囲 種類 K熱電対 J		根 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 90			
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	<u> 张</u> 表/設定範囲 <u> 種類</u> K熱電対 J		▲ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00			
	こ注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	<u> 张</u> 秋表/設定範囲 種類 K熱電対 J	田表 $-200 \sim 137$ $-200 \sim 85$ $0 \sim 170$ $-200 \sim 40$ $-200 \sim 130$ $0 \sim 170$ $0 \sim 170$ $0 \sim 180$ $-199 \sim 50$ $-199 \sim 50$	小数点表示設定時 72 -199.9~990.0 50 -199.9~850.0 00 00 -199.9~400.0 00 -199.9~990.0 00			
	ご注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	<u> 张</u> 表/設定範囲 <u> 種類</u> K熱電対 J	下限 ~ 上原 - 200 ~ 137 - 200 ~ 85 0 ~ 170 - 200 ~ 40 - 200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 180 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50	根 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	こ注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	<u> 報</u> 択表/設定範囲 <u> 種類</u> K熱電対 J	田表 下限 ~ 上原 -200 ~ 137 -200 ~ 85 0 ~ 170 -200 ~ 40 -200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 170 0 ~ 170 -199 ~ 50 -199 ~ 50	根 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 05 10 11	杜沢表/設定範囲 種類 K熱電対 J	田表 下限 ~ 上原 - 200 ~ 137 - 200 ~ 85 0 ~ 170 - 200 ~ 40 - 200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 180 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50	R 小数点表示設定時 //2 - 199.9~990.0 //2 - 199.9~850.0 //2 - 199.9~850.0 //2 - 199.9~400.0 //2 - 199.9~990.0 //2 - 199.9~990.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0 //2 - 199.9~500.0		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	<u>建</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	玉田 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	■ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0)0 - 199.9~400.0)0 - 199.9~990.0)0 - 199.9~990.0)0 - 199.9~500.0)0 - 199.9~500.0		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた <u>表1.入力選</u> <u>00</u> 01 02 03 04 05 05 10 11	<u>建</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω		R 小数点表示設定時 //2 − 199.9~990.0 //2 − 199.9~850.0 //2 − 199.9~850.0 //2 − 199.9~990.0 //2 − 199.9~990.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0 //2 − 199.9~500.0		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた <u>表1.入力選</u> <u>00</u> 01 02 03 04 05 06 10 11	<u> · · · </u>	田表 - 200 ~ 137 - 200 ~ 85 0 ~ 170 - 200 ~ 40 - 200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 180 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50	▲ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	こ注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	<u> · · · </u>	田表 $ - 200 \sim 137$ $ - 200 \sim 85$ $ 0 \sim 170$ $ - 200 \sim 40$ $ - 200 \sim 130$ $ 0 \sim 130$ $ 0 \sim 170$ $ 0 \sim 180$ $ - 199 \sim 50$ $ - 199 \sim 50$	▲ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	<u> 報</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	田表 - 200 ~ 137 - 200 ~ 137 - 200 ~ 49 - 200 ~ 40 - 200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 170 0 ~ 180 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50	R 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00 - 199.9~400.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~500.0 00 - 199.9~500.0		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック ↓ MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 06 10 11	<u>建</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	玉田 ○ 上原 ○ 上原 ○ ○ 133 -200 ○ 85 0 ○ 170 -200 ○ 40 -200 ○ 130 0 ○ 130 0 ○ 180 -199 ○ 50 -199 ○ 50	■ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00 - 199.9~400.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~500.0 00 - 199.9~500.0		 □ 運転モードロック □ 運転モード以外ロック → MODEキー(1.に戻る) 	
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	<u>建</u> 択表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	田表 -200 ~ 137 -200 ~ 85 0 ~ 177 -200 ~ 40 -200 ~ 137 0 ~ 177 0 ~ 187 -199 ~ 57 -199 ~ 57	■ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00 - 199.9~400.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~500.0 00 - 199.9~500.0		〕 運転モードロック 〕 運転モード以外ロック MODEキー (1.に戻る)	
	ご注意くた 表1.入力運 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11		田表 - 200 ~ 上所 - 200 ~ 85 0 ~ 177 - 200 ~ 40 - 200 ~ 137 0 ~ 177 0 ~ 187 - 199 ~ 57 - 190 ~ 57	■ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00		 ② 運転モードロック ③ 運転モード以外ロック → MODEキー(1.に戻る) 	
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	社状表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	田表	▲ 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00		 ② 運転モードロック ③ 運転モード以外ロック ● MODEキー(1.に戻る) 	
	ご注意くた 表1.入力選 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	<u> ·</u> 社状表/設定範囲 / 一種類 ·	田表 - 200 ~ 137 - 200 ~ 85 0 ~ 177 - 200 ~ 40 - 200 ~ 130 0 ~ 177 0 ~ 186 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50 - 199 ~ 50	R 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00 - 199.9~400.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~500.0 00 - 199.9~500.0 00 - 199.9~500.0		 □ 運転モードロック □ 運転モード以外ロック → MODEキー(1.に戻る) 	
	志 注意 < た 表1.入力递 記号 00 01 02 03 04 05 05 10 11	<u> 報</u> 打表/設定範囲 種類 K熱電対 J " R " T " N " S " B " Pt100Ω JPt100Ω	玉天田 ~ 上原 -200 ~ 133 -200 ~ 85 0 ~ 170 -200 ~ 40 -200 ~ 130 0 ~ 170 0 ~ 130 -199 ~ 50 -199 ~ 50	R 小数点表示設定時 72 - 199.9~990.0 50 - 199.9~850.0 00 - 199.9~400.0 00 - 199.9~990.0 00 - 199.9~500.0 00 - 199.9~500.0 00 - 199.9~500.0		 □ 運転モードロック ③ 運転モード以外ロック → MODEキー(1.に戻る) 	

MODEキー(2秒)

▲キー 9.制御内容設定画面 5.5 と _ PV 制御設定モード呼出画面	- <u>37.EV1設定画面</u> - <u>56と</u> pv ^{EV1} 設定モード呼出画面 - 、 5	47.EV2設定画面 ► <u>566</u> PV EV2設定モード呼出画面	▲キ- 67. タイマー設定画面 <u>55.と</u> のV タイマー設定モード呼出画面 ▲ キー	74.優先画面設定 5.5.2 PV 優先画面選択呼出画面
		 Y MODEキー 48.EV2機能設定画面 「テラミ」の、イベント出力の標準機能を 	(ビリSV WODEキー SET1から T5.第1優先画面設定 COULT - Immediate トロク画面(1990日)
L_JL/I/V 下きい。(で) 【200 sv (表1.設定範囲内にて) MODE+- 11.SVリミッタ下限設定画面	<u> 「□□」</u> sv 下記より選択、切替 sv □□ PV イベント機能 0:不要 1:偏差上下限	I I IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	L」 <u>」</u> sv sv <u>」</u> 使用しない <u>」</u> 制御	Pri 1 Pr ##4 ℃ = 150 ₪ ш ℃ # B ℃
「 <u>5</u> <u>L</u>] ρv 設定値の下限を設定して 下さい。(℃) 「SV (表1.設定範囲内にて) MODEキー	2:1冊定上7限 3:個差上7限範囲内 5:絶対値上7限 6:絶対値上限 7:絶対値下限範囲内 8:絶対値下限範囲内	2:1冊左上吸 3:4冊差上下限範囲内 4:4冊差上下限範囲内 5:絶対値上下限 6:絶対値上限 7:絶対値下限 8:絶対値下限額囲内	イベント1出カ ↓ MODEキー 69.タイマー機能設定画面	Pri2py 運転モードBの画面に2番目に 素示画面を選択 MODEキー MODE
12.制御モート設定画面 <u> </u>	イ加機能 0:不要 1:保持(電源リセット) 2:待機シーケンス 3:保持+待機シーケンス		$ \begin{array}{c} \underline{-E\PiF} \\ PV \\ 1SV \\ SV \\ \hline \end{array} $	77.第3優先画面設定 Pri3Pv 運転モードBの画面に3番目に <u> のFF</u> sv 、MODEキー
<u> </u>	MODE≠- 39.EV1上限設定画面 -E /// PV 起空道を1 + 1 - 5 + 1 、	MODEキー 49.EV2上限設定画面 「	$\begin{array}{c} 2 \\ \hline 2 \\ 2 \\$	▼ 78.第4優先画面設定 [<i>P_rI</i> 4] _{<i>PV</i>} <i>■FF</i> sv
13.制御種類選択画面(説明3.参照) <u> 「これと</u> PV <u> 110</u> SV した 110 10 10 10 10 10 10 10 10 1	□SV MODEキー 40.EV1下限設定画面	□]sv MODEキー 50.EV2下限設定画面		✓ MODEキー 79.第5優先画面設定 [Pr15] PV 運転モードBの画面に5番目に ま示画面を選択
sv 1 招 機能選択 出力1制御選択 0:タイプA 1:PID 1:9イプB 2:ON-OFF	L <u>- E IL</u> PV 「 ^{F 取選択時} 、 夜ぶっ 図 SV MODEキー 41. EV1感度設定画面	L_とどL PV 下吸進が時表示。 □ SV MODEキー 51.EV2感度設定画面		MODE+- 80.第6優先画面設定 PriらPv 運転モニド8の画面に6番目に
2:0N-OFF 3:イベント出力 MODEキー 14 正動作/2単動作切替画面	[Pv EV1に感度が必要な時に]Sv 設定して下さい。(℃) MODEキー	[<u></u>	SV 時分 分秒 ↓ MODE≠	▲ MODEキー 81.第7優先画面設定
Image: strain of the stra	42.EV1ディレータイマー設定画面 EV1に遅延タイマが必要な 時に設定して下さい。(秒) Sv	52.EV2ディレータイマー設定画面	71.タイマSVスタート許可幅設定画面 [<u>-と5</u> <u>u</u>] /v/ しつ999.0 し Sv 設定単位:℃	P _r 1 / P _V 運転モードBの画面に7番目に <u>●FF</u> Sv MODEキー 92 第9 / 毎4 / 毎日 1 / 第1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 /
/ 正動作(冷却時) ↓ MODEキー 15.出力1操作量画面(%)		★ Robert 53.EV2異常機能設定画面 <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> EV2で下表の異常が発生時に <u></u> 使用の場合、設定して下さい。 <u></u> <u></u> Sv	MODEキー 72.タイマ時間設定画面 (」 ρ√ 0:00~59:59又は 0:00~59:59 0:00~59:59	OZ:syOle //回回版/ PrIB/PV 及示画面を選択 MODEキー
□ <u>□</u> <u>□</u> <u>P</u> □ <u>□</u> <u>□</u> <u>□</u> <u>□</u> <u>□</u> <u>□</u> <u>□</u> <u>□</u> <u>□</u>	SV 通道 種類 0:不要 1:PV異常(センサ断線等) 2:ヒー夕異常 3:PV異常+ヒー夕異常 1:PV	sv 00 種類 0:不要 1:PV異常(センサ断線等) 2:ヒー夕異常 3:PV異常+ヒー夕異常	MODEキー 73.タイマ残時間モニター設定画面 「 <u></u> 」 「」 「」 の画面でFUNCキー1回押し	82.第9優先画面設定 Pright 運転モードBの画面に9番目に <u>oFF</u> sv MODEt= (74 に見る)
MODEキー ✓ <pid制御選択時> 16.PIDチューニング種類設定画面 <u> とい</u>のPV 設定値で最適なチューニング</pid制御選択時>	● 1:保持(電源リセット) ● 1:保持(電源リセット) ■ MODEキー	■ 1/2 ● 7条生時のみ/不要 1:保持(電源リセット) ■ MODEキー	<u></u>	Y HOLE (HILLAS)
	44.EV1種性設定画面 <u> E IP</u> PV イベント出力ON時に接点の 「開」又は「閉」を 設定します。 SV フノーマルオープン	54.EV2種性設定画面 <u> E2P</u> /v (イベント出力ON時に接点の (開)又は(閉)を 設定します。 SV () ノーマルオーブン		
ビリ セルフチューニング出力2 ビリ セルフチューニング出力2 「」 オートチューニング出力1・2 起動方法:1/3/5を選択してFUNCキー	- □ ノーマルクローズ MODEキー 45.CT入力モニタ		*	
を1回押してオートチューニング起動。 起動中、FUNCキーを押して解除。 MODEキー 17.AT係数設定画面		[レ [Pv [] Sv [Sv ★示範囲:1~60A ↓ MODEキー		
<u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u></u> <u>_</u>	46.EV1ヒーク異常電流値設定 ※	56.EV2ヒー夕異常電流値設定 □ □ □ □ I I V L V L V	*	
16.A1 独長設な圧回面 <u>RE</u> [PV _ 25V → OFF制御時の感度を設定 します。(℃) MODEキー	<on-off制部道択時></on-off制部道択時>	• 		
19.出力1比例帯設定画面 <u>P I Pv</u> 出力1側の比例帯の調節 <u>3</u> 0 sv MODEt=		▼ 33.出力1制御感度設定画面 「」PV 出力1 ON-OFF感度を調整時 「」SV に使用して下さい。(℃)	ON-OFF制御に関する	幾能
	26.出力2探作量面面(%) <u> </u>	MODEキー 34.出力10FF点位置設定画面 「」」 日の一 設定します。	 逆動作(加熱制御)の場合 (1) OFF点位置の設定(CP)=0 	■ 正動作(冷却制御)の場合 (1) OFF点位置の設定(CP)=0
MODEキー 21.微分時間設定画面 「の/ 「」SV 微分時間の調節 0~3600(彩)			ON OFF SV (設定値)	ON OFFSV (設定值)
MODEキー 22.出力1比例周期設定画面 <u> 上 PV</u> 比例周期の時間調節 1~120 (秒)	(19.出力1比例帯の倍数で [10]SV 設定) ↓ MODEキー 28.出力2比例周期設定画面	▼ 35.出力2制御感度設定画面 - 〔2] PV □ 出力2 ON-OFF感度を調整時 □ □ SV	(2) OFF点位置の設定(CP)=正の値	(2) OFF点位置の設定(CP)=正の値 ^{←CB} → ^C ^(制御感度) →
<u> CU</u> SV MODEキー 23.ARW設定画面(説明4.参照) <u> 月-出Pv</u> ARWの調節(%)		▼ MODEキー 36.出力20FF点位置設定画面 「」 2000 2000 2000 2000 2000 2000 20	ON OFF SV (設定値)	ON OFF SV (設定値)
<u>「1000</u> 」sv 0.0~100% ↓ MODEキー 24.出力1操作量リミッタ上限設定画面	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	LUSV MODE‡−	(3) OFF点位置の設定(CP)=負の値	(3) OFF点位置の設定(CP)=負の値 <u>C (制御感度)</u> <u>C (</u>
L_ <u>ΠΗ 1</u> PV <u>IDDD</u> SV BFL使用して下さい。(%) MODEキー 25.出力1操作量リミック下限設定画面	30.出力2操作量リミッタ下限設定画面 <u></u>		ON OFFSV (設定値)	ON OFF SV (設定値)
<u> このはパッシュアレーズの文化回知</u> <u> 「<u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	▼ 31.マニュアルリセット設定画面 - Pbb Pv 比例帯を移動する際に設定値 ① い を変更してたさい。			
	32.デッドバンド設定画面 のアレレ 0.00 sv			

MODEキー (9.に戻る)